

研究課題

大腸癌治癒切除症例に対する術前後 CRP/Alb 比の予後予測因子としての意義

研究期間

データ収集期間 2012 年 1 月 1 日 ～ 2018 年 12 月 31 日

データ分析期間 承認日 ～ 2022 年 12 月 31 日

研究機関

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 外科

目的

大腸癌術後の予後予測因子として様々な炎症マーカーが報告されている。その多くは、術前の患者状態を評価したものだが、術後患者状態を評価した報告はまだ多くはない。一方で、手術による腫瘍除去後の炎症マーカーは手術ストレスや術後回復の程度、患者の本来持つ炎症状態を評価したもので、術前に評価する炎症状態とは異なった要素を反映するものと考えられる。

本検討は、術後炎症マーカーの予後予測因子としての意義を評価するとともに、術前と術後炎症マーカーの組み合わせが予後予測の良好なマーカーとなるかを評価することとした。

評価する炎症マーカーとして、我々が過去に高齢者大腸癌の予後予測因子として報告した (Updates in surgery, 2022)、CRP/Alb 比 (CAR) を選択する。

方法

対象は 2012 年 1 月から 2018 年 12 月までに当院で根治的大腸癌根治手術を行った pStageII/III 症例。術前、術後の CAR と予後の関係性を評価する。

意義

過去に術前後 CAR と予後の関係性を検討した報告は認めない。CAR はその他の炎症マーカーと比べて、予後予測能が高いとする報告が多い。術前後 CAR は良好な予後予測能を有する可能性が高い。

個人情報の保護

本研究では患者様のカルテなどから病歴および血液検査結果に関するデータ収集を行うため、研究対象者のプライバシー保護のため研究の意義や目的、方法、匿名化の確保を行い、研究結果はインターネットのホームページ上に公表されます。研究のために知りえた個人情報は院外に持ち出さず、記録物と合わせて施錠可能な場所に厳重に保管・保存します。データは個人情報が特定できないようにします。また、本研究でのみ使用し研究終了後 5 年間保存しその後個人情報に留意し破棄します。研究結果は学会・論文に発表することもあります。その際も個人情報が特定できないように対処します。当院臨床研究審査委員会の承認を得ます。

問い合わせ等の連絡先

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 外科 玉井 皓己

住所：〒564-8567 大阪府吹田市岸部新町 5-7 電話番号：06-6387-3311(代表)